

2017年高校生と医学生のための地域医療体験（報告）

県立神崎高等学校教務部

- 1 目的 すべての参加者（高校生、医学生、関わるスタッフ、地域住民）が学び、感じ、成長できるプログラムに。
- 2 日程 平成29年8月24日（木）～27日（日）3泊4日
- 3 場所 公立神崎総合病院
- 4 参加者 大阪医科大学、兵庫県立神崎高等学校、兵庫県立香寺高等学校、広尾学園高等学校、高瀬高等学校、公立神崎総合病院
- 5 協力者 かんざき訪問看護ステーション、ケアステーションかんざき
神河町健康福祉課、神河町社会福祉協議会、地域医療を守る会、すずらんの会（病院ボランティア）、学生民家宿泊先
- 6 主催 大阪医科大学地域総合医療科学寄付講座・公立神崎総合病院
後援 神河町
- 7 参加数 本校から2名の生徒（1年と3年から各1名）が参加
- 8 報告 初日の神河町地域診断ワークショップ（WS）までの報告です。

（1）開会式 14：00



写真1 山名町長挨拶



写真2 宮原院長挨拶



写真3 鈴木先生より説明



写真4 参加者の自己紹介



写真5 白衣貸与式



写真6 オープニングレクチャー

（2）神河町地域診断ワークショップ 15：00



写真7 チーム内の自己紹介



写真8 WS 説明



写真9 会場全体像

9 今後の日程等

2日目は訪問看護・訪問リハビリ実習や地域医療レクチャー等の実施、3日目は手術室体験や医療デモ体験等の実施、4日目は4日間のまとめ発表が行われます。